

# 共生社会の実現に向けて Vol.7

## ◆共生社会という言葉の認知度

### ～令和3年度まちづくり町民アンケートから

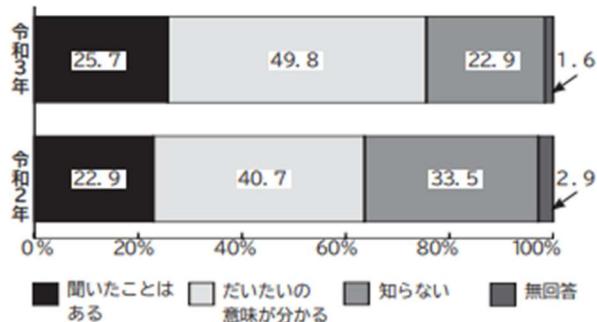
共生社会とは、「性別、年齢、障がい、民族、国籍、宗教、文化、風習などの多様性を認め、一人ひとりがお互いの人権を尊重し、誰もがその個性と能力を発揮してあらゆる分野で活躍でき、生き生きと心豊かに安全に安心して、ともに暮らすことのできる社会」（第6期音更町総合計画）のことです。

令和3年7月に実施したまちづくり町民アンケートで共生社会という言葉の認知度について聞いた結果は図、表のとおりです。前年（令和2年）に比べると「聞いたことがある」と「だいたいの意味が分かる」の割合が増加しています（図参照）。

令和3年の結果（表参照）を性別にみると、「聞いたことがある」の割合は男女間に差は見られませんが、「だいたいの意味が分かる」とした割合が男性のほうがやや多くなっています。

年代別には、「聞いたことがある」は18～29歳で約4割と最も高く、30～40代で半減し、50代以降で再び高くなっています。「だいたいの意味が分かる」は、18～29歳、30代、50代が45%前後、40代と60代が50%、70代以上が最も高く54.8%となっています。「聞いたことがある」と「だいたいの意味が分かる」の合計は、18～29歳と60代以上が高く、30～50代が低くなっており、年代間のバラツキが大きくなっています。

【図 共生社会という言葉の認知度（まちづくり町民アンケート）】



【表 性別、年代別の共生社会という言葉の認知度（令和3年）】

	全体	男性	女性	18～29歳	30代	40代	50代	60代	70代以上
聞いたことがある	25.7	25.3	25.9	39.3	20.0	18.9	24.5	29.8	29.8
だいたいの意味が分かる	49.8	53.2	46.2	46.4	47.5	50.0	44.9	50.0	54.8
知らない	22.9	18.8	26.7	14.3	32.5	28.9	28.6	19.0	13.1
無回答	1.6	2.6	1.2	0.0	0.0	2.2	2.0	1.2	2.4

※対象：音更町に在住する18歳以上の町民1,000人

※回収数：432票

※【問18】音更町では、今後、共生社会の実現に向けたまちづくりに取り組んでいきます。あなたは、共生社会という言葉を知っていますか。（○は1つ）

問合先 役場企画課企画調整係（内線213）